

## 1.4 県民への広報・市町村の活用

資料 1 - 4

パシフィックコンサルタンツ株式会社

### 1.4.1 津波浸水予想図の公開

#### (1) 公開する津波浸水予想などの種類

以下の 5 種類の津波浸水予想図と海岸からどのくらいの高さにあるかを理解しやすいような地盤高図を作成・公開する。

① 県内の各海岸で気象庁が発表予定の洪水予報レベルに応じた津波 (3m、5m、10m) を与えた津波浸水予想図

② 延宝房総地震 (1677) と元禄地震 (1703) の津波浸水予想図

③ 地盤高図 (50cm ピッチの地盤高図、地盤高が 3m、5m、10m 以下の地域)

#### (2) 津波浸水予想図の記載項目

今後、改訂した津波浸水予想図を基に市町村が「津波ハザードマップ」を作成することとなる。「津波ハザードマップ」は、浸水情報(津波浸水予想図)に避難活用情報、災害学習情報などを記載することとなる。今回の津波浸水予想図改訂にあたっては、市町村が速やかに「津波ハザードマップ」を作成できるように以下の項目の記載を検討する。

##### 1) 津波による危険を理解しやすい浸水深の表示

住民等が津波による浸水をイメージし易いように、ランク分けは身体の部位に関連付けるとともに、自動車で避難する際の危険度をわかりやすく表現する。

津波による浸水が発生する際に、陸上のある地点で水面がもっとも高い位置に達するときの、地面から水面までの高さを表 1.4-1 のランク分けに応じて着色する。

浸水ランクは足首(15cm)、膝(50cm)、腰(80cm)、胸(1.2m)など、人間がイメージし易いように身体の部位に関連付けた閾値を次頁のイメージ図と伴に提供する。

表 1.4-1 浸水深のラン分け

浸水深ランク	理由	備考
～15cm	足首までつかる深さ 10cm 以上で自動車のブレーキ性能低下	
10cm～50cm	大人の膝までつかる深さ。 歩行の自由が奪われる 30cm 以上でも、エンジンが停止する可能性がある 30～50cm では、エンジン停止。車からの退出を図る必要がある	
50cm～80cm	大人の腰までつかる深さ、さらに歩行の自由が奪われる 車が浮き、また、パワーウィンドウ付きの車では車の中に閉じ込められてしまい、車と共に流され非常に危険な状態となる	1983 年日本海中部地震では津波による 70cm の浸水深で死者が出ている。
80cm～120cm	大人の胸までつかる深さ 人的被害発生の可能性は非常に高い	
120cm～200cm	1 階軒下までつかる深さ 鉄筋コンクリートの建物 2 階以上に避難が必要となる	木造家屋部分的破壊
200cm～500cm	2 階軒下までつかる深さ 木造家屋は全面破壊 鉄筋コンクリートの建物 3 階以上に避難することが必要	2m 以上で、沿岸集落に被害が発生木造家屋は全面破壊、漁船にも被害発生、死者増加 4m 以上では、沿岸集落・漁船被害率 50%
500cm～	3 階以上がつかる深さ	



## 2) 歩行困難になるまでの時間コンター

津波発生時には、津波が到達する前に確実に避難することが必要である。そのため、最大浸水深と共に、地震発生から歩行困難に水深が到達する時間のコンター線を記載し、住民が自宅付近に歩行困難となる浸水深に到達する時間を把握し、円滑かつ迅速な避難行動を促すことができるようにする。

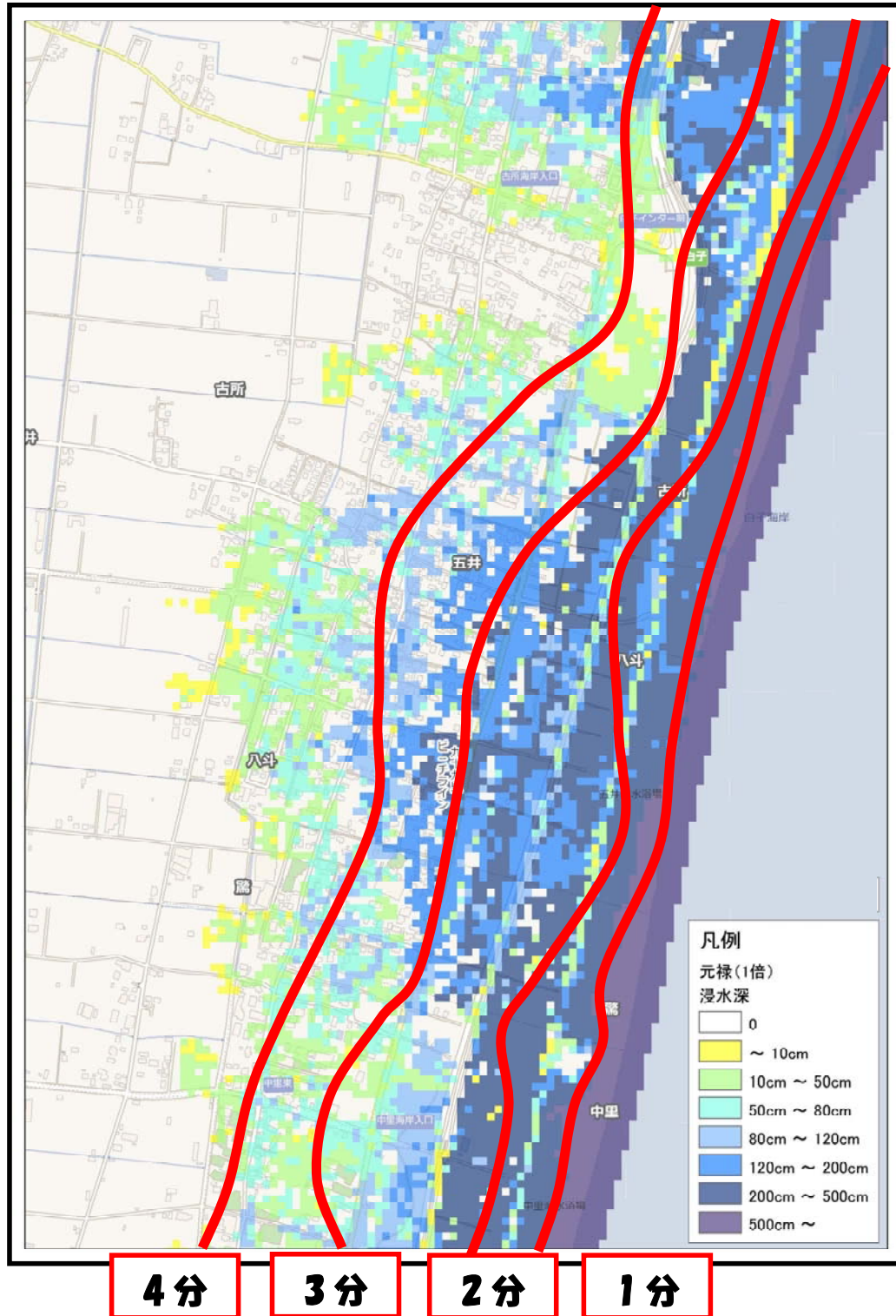


図 1.4-2 歩行困難な水深に達する時間コンター線(イメージ)

### 3) 地盤高図

自宅付近が海面からどのくらいの高さに位置しているかを理解しやすいように地盤高図を作成する。また、今回の津波浸水予想図は、気象庁が発表予定の洪水予報レベルに応じた津波に対応した津波浸水予想図を作成・公開するため、3m以下の地域などがわかりやすいように着色した図面を提供する。

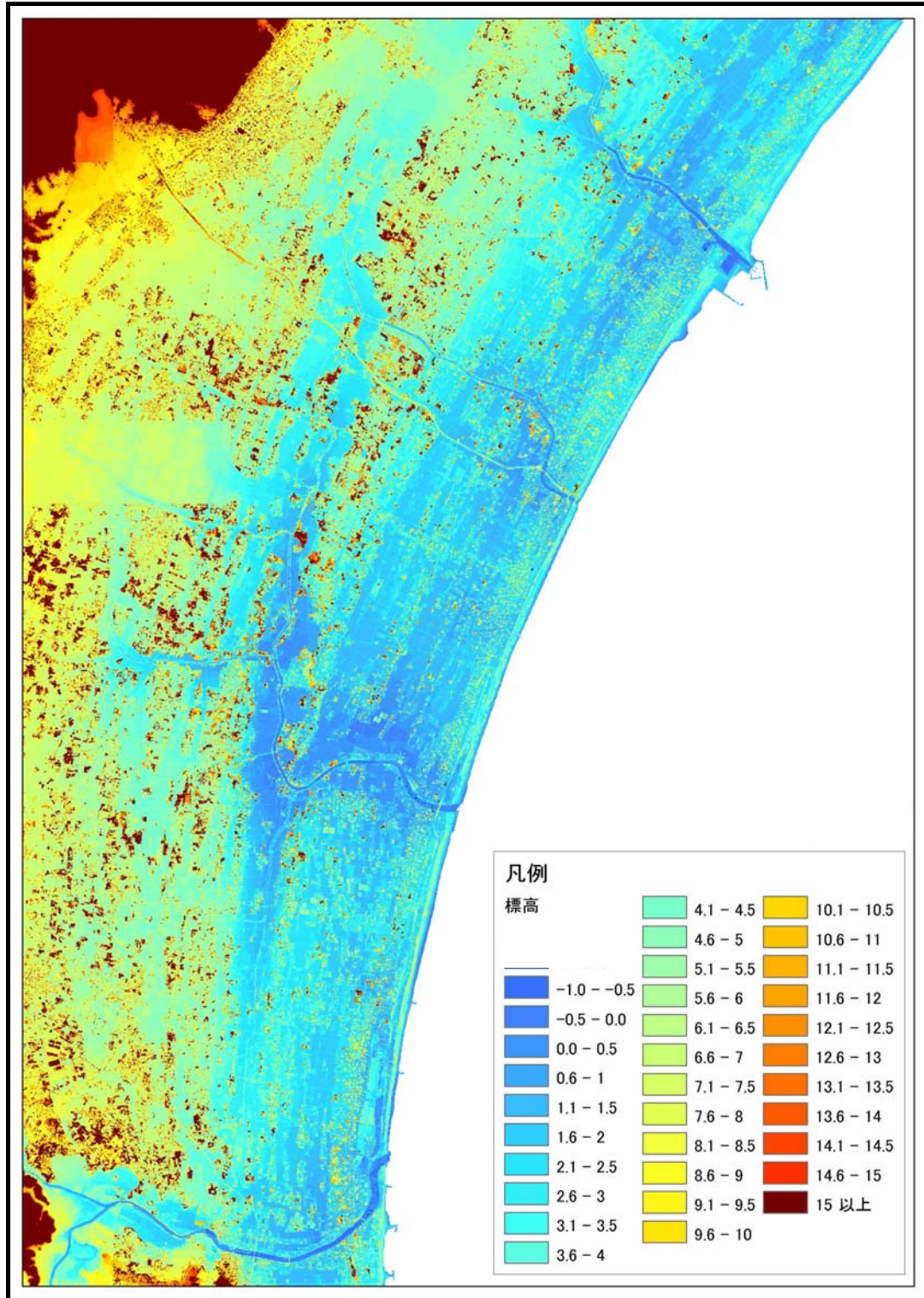


図 1.4-3 地盤高図(イメージ)

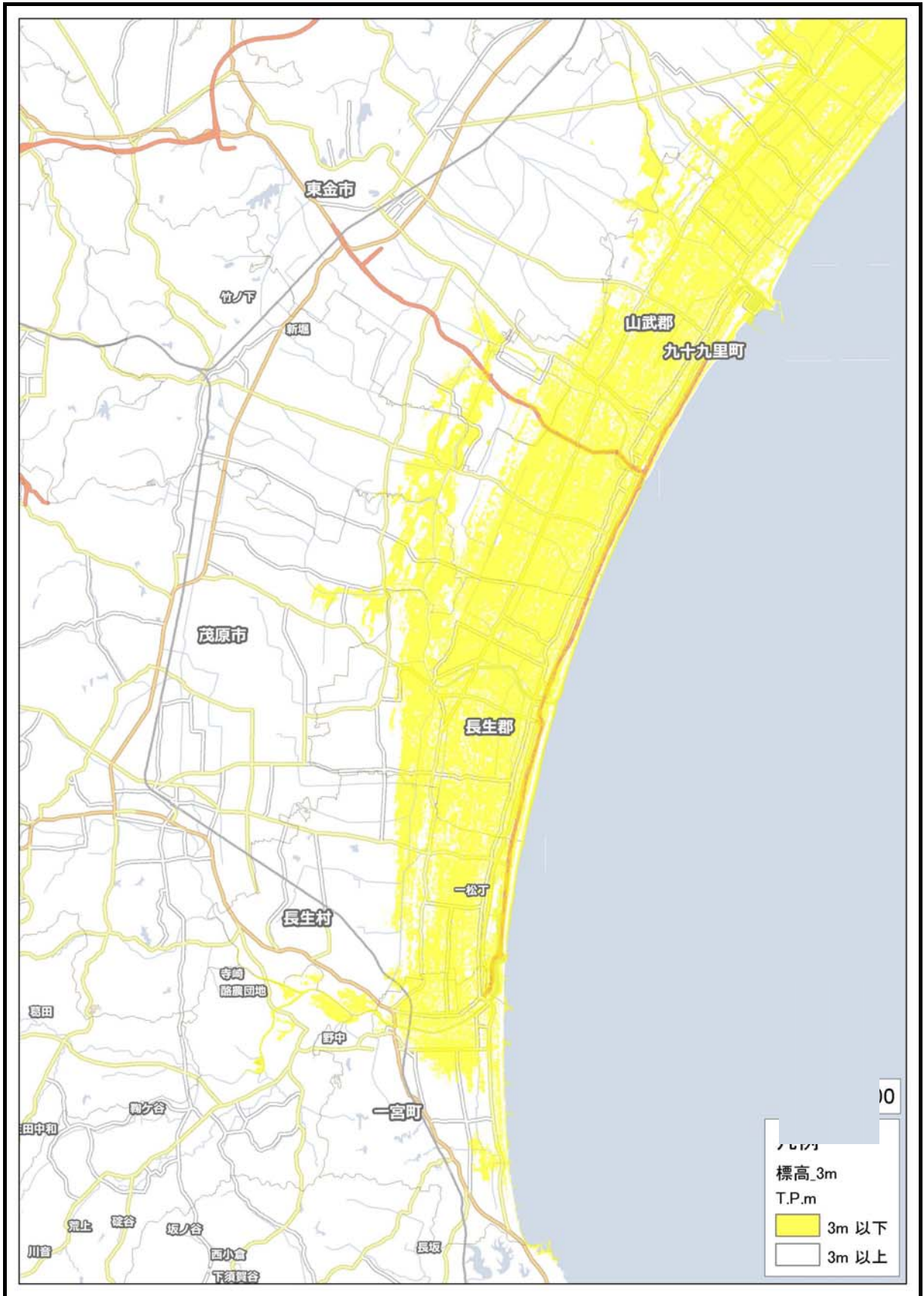


図 1.4-4 地盤高 3m 以下の地域

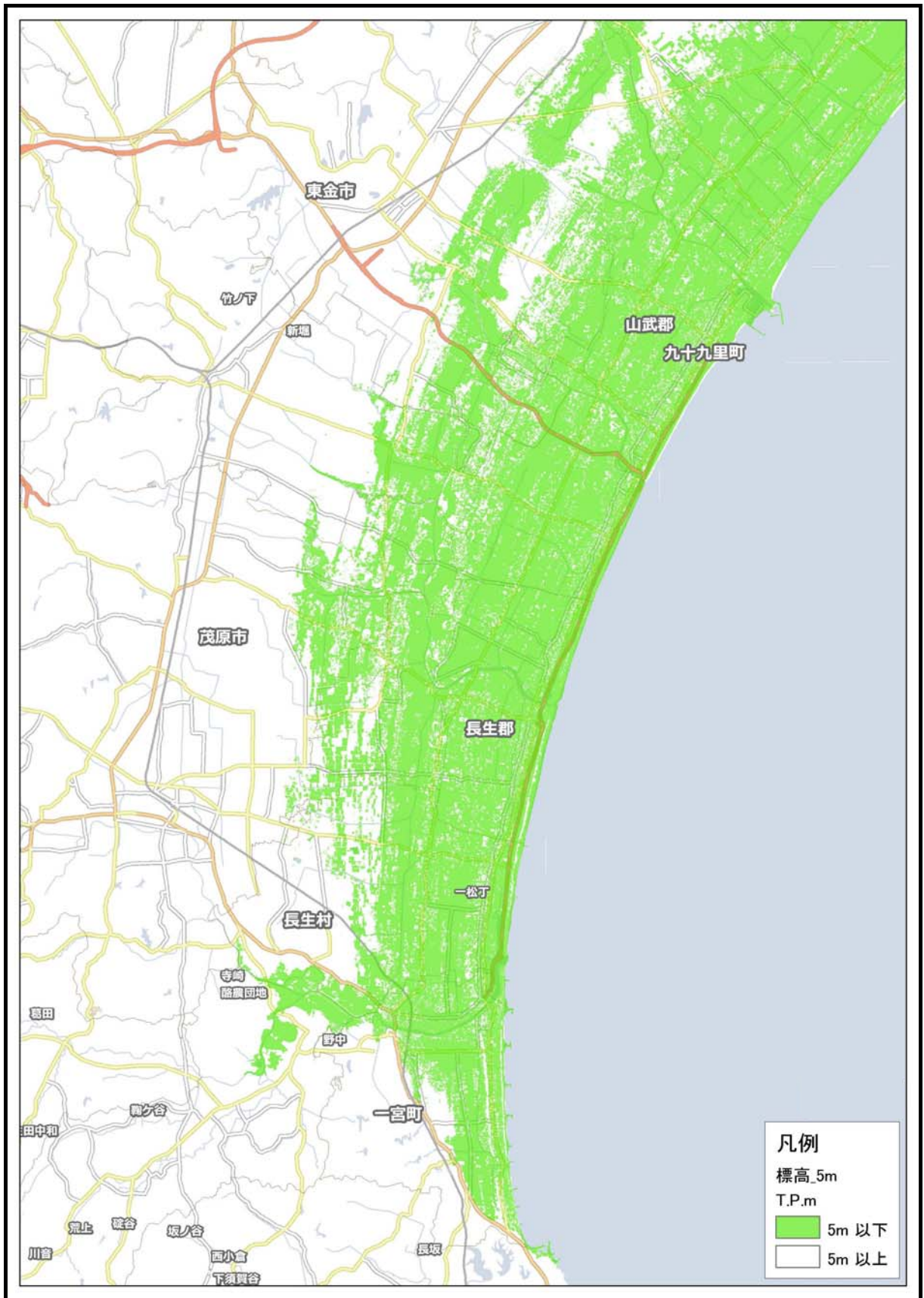


図 1.4-5 地盤高 5m 以下の地域

## 1.4.2 公開・提供方法

### (1) 千葉県ホームページでの公開

改訂した津波浸水予想図は、現状と同様に千葉県ホームページ上(防災ポータルサイト)で公開する。画面遷移に関しても、次頁に示すように現状と同様の遷移とする。

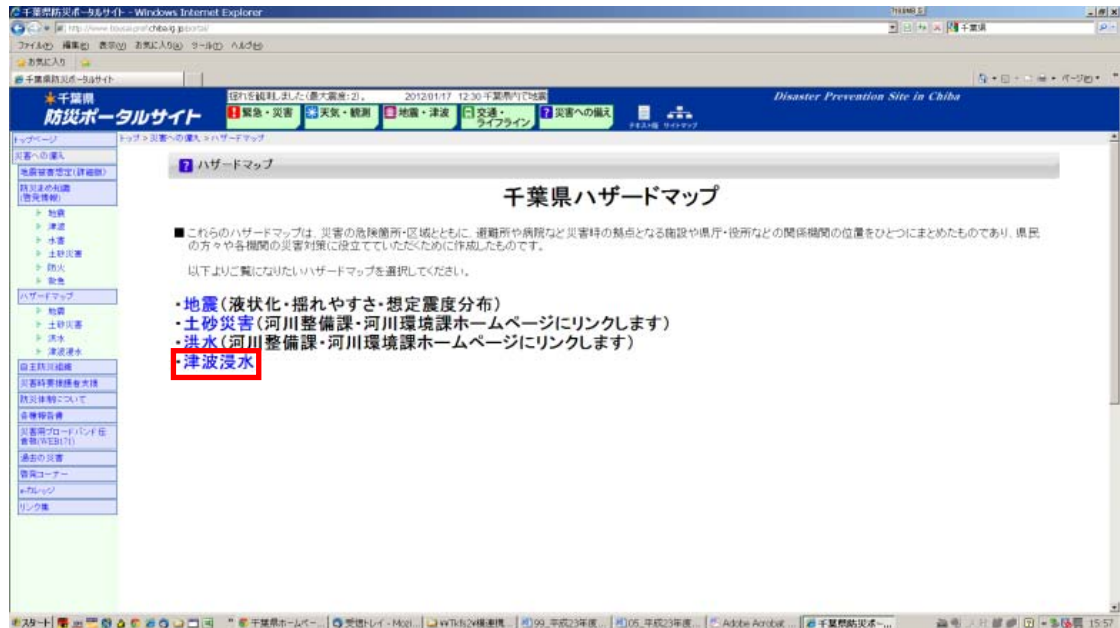


図 1.46 千葉県ホームページ(防災ポータルサイト画面)

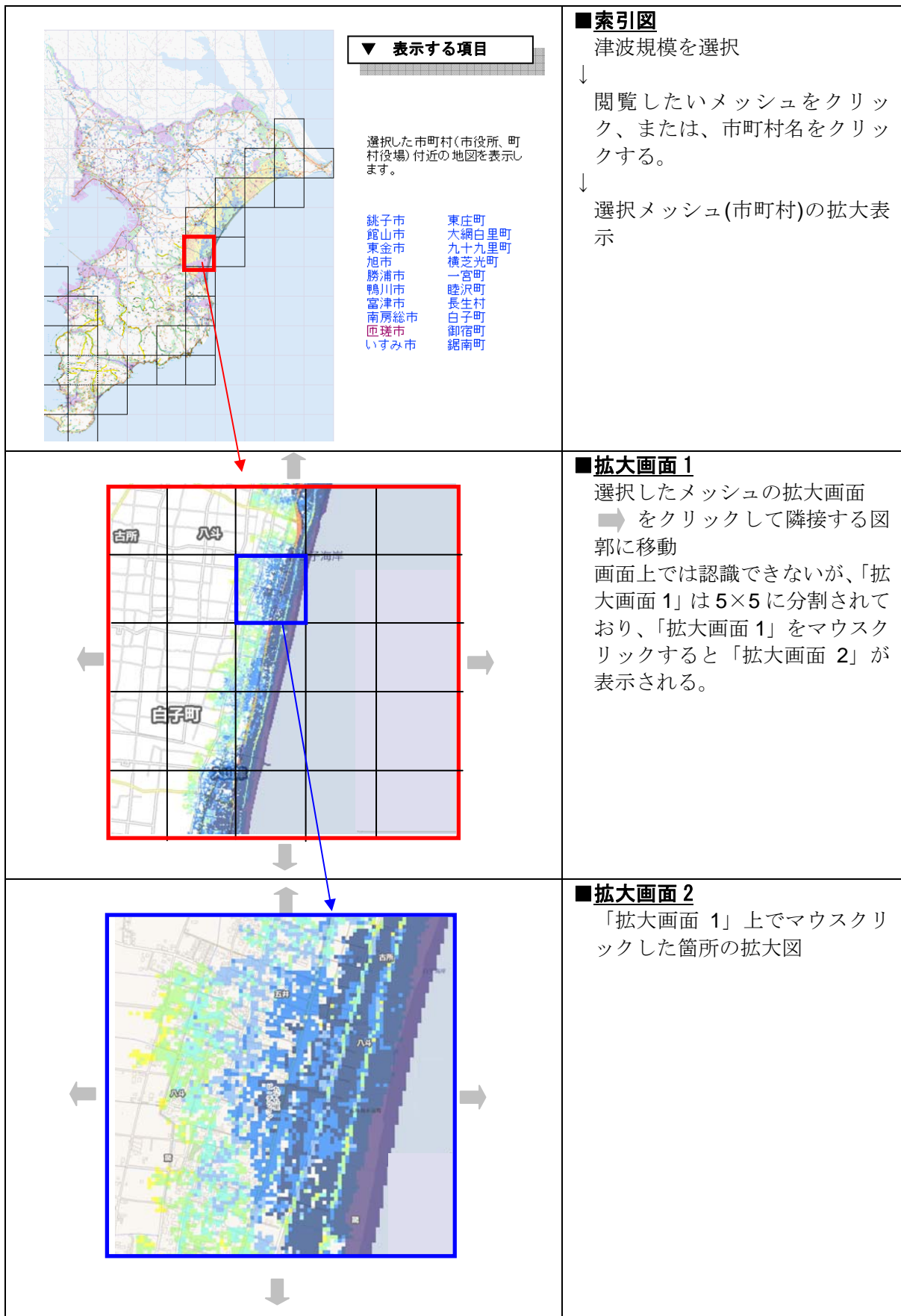


図 1.4-7 津波浸水予想図の画面遷移イメージ



## (2) 電子データでの提供

住民等に地震発生から津波伝播状況をビジュアルに伝えるため、広域の解析結果をアニメーション化する。また、陸地での津波の伝播状況をわかりやすく表現するため、詳細なアニメーションも作成する。作成したアニメーションは市町村の求めに応じて電子媒体で提供できるようにする。

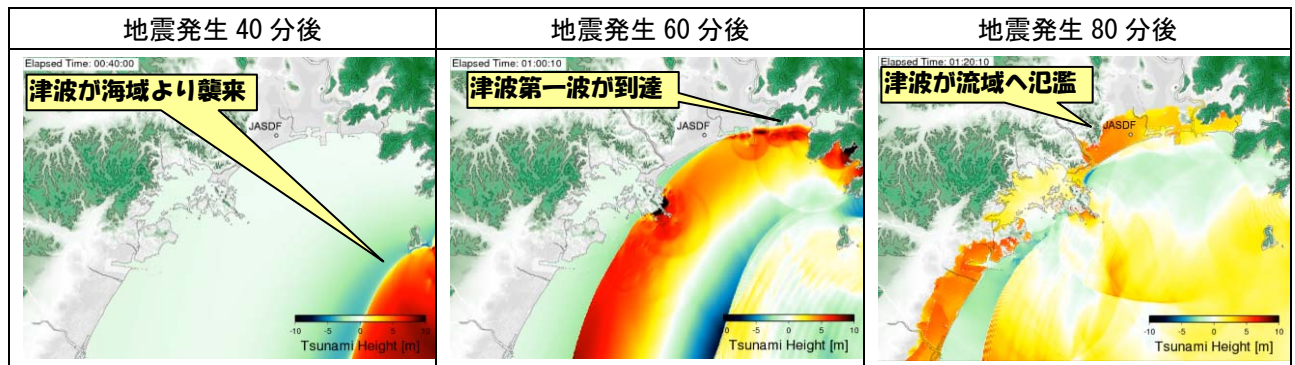


図 1.4-8 アニメーション(広域)イメージ